

2018年8月20日

神鍋山 自然観察会（バスツアー）のご案内

自然と文化科 観察委員会

神鍋山は2万年前頃まで噴火していた、近畿で最も新しい火山です。高さ469.5mの山頂には深さ50m、周囲750mの火口が見られます。南側はスキー場に開発されていますが、北側には古い森林が残り、但馬地方の植物が数多く見られます。また溶岩流でせき止められた多数の滝もあります。爽やかな高原の空気と風の中、観察会を楽しみましょう。

記

1. 実施期日：H30年10月5日（金） 雨天決行
2. 集合：西梅田 大和ハウス前 7：50（出発8：00時間厳守）
3. コース：10:40 道の駅「神鍋高原」に到着し、観察スタート→風穴→12:30 神鍋山 山頂着 昼食後道の駅に下山→14:00 発八反の滝 15:00 発→18:00頃 梅田着
行程 4kmほどで特にけわしいところはありません
*なお、雨天の場合は、下山後、八反の滝には行かず、植村直己冒険館に行きます。
（入館料500円（65歳以上250円）は、参加費用とは別に個人負担となります。）
4. 持ち物：昼食・飲料・雨具・ループ・図鑑・必要な方はストック
5. 参加費：3,000円

神鍋山



八反の滝



2018年10月5日 神鍋山観察会ルート (赤線登り 青線下り)

